

科目名	保 育 者 論	教員名	子どもの 淀野 順子	開 講	保育科	1年次	後 期
<p>・ 目的と内容</p> <p>保育施設や保育サービス、保育者などへの期待やニーズは多岐にわたっており、対応には緊急性を要するものが少なくありません。保育に対する多様な期待やニーズに応えるには、保育者の高い専門性が必要となります。</p> <p>また、子どもの「生涯にわたる人間形成の基礎を培う極めて重要な時期」に関わる保育者は、保育についての専門的な知識・技術を身につけるだけでなく、自分自身の位置づけや役割を理解し、成長し続ける保育の専門家であり続ける必要があると言えるでしょう。</p> <p>この授業では、保育士の位置や役割についての基礎事項を理解することを通じて、専門性とは何かを考察し、さまざまな方面との協働のあり方を考えます。また、保育者の専門的成長とは何かについて、一人ひとりが考察することを目指します。</p>							
<p>・ 授業計画 [単位数：2単位、授業週数：15回]</p> <p>[後期]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育者の役割と倫理 2. 保育士の制度的位置づけ (資格・要件・責務) 3. 保育士の専門性1 (養護と教育) 4. 保育士の専門性2 (資質・能力) 5. 子ども理解と方法 6. 指導要録の内容と書き方 7. 保育課程による保育の展開と自己評価 8. 保育の省察1 9. 保育の省察2 10. 専門的成長と発達 11. 保護者・地域社会との協働 12. 子育て支援対策の展開 13. 専門職・機関との連携 14. 筆記試験 15. 試験解答・まとめ 							
<p>・ 講義の進め方</p> <p>基本的には講義形式で進めますが、適時VTRを利用したり、グループワークを行います。</p>							
<p>・ 試験と成績評価</p> <p>筆記試験と小レポートにより評価します</p>							
<p>・ 担当教員から受講生諸君へ</p> <p>保育者はいかにあるべきかを考えながら、保育者となる自分自身のあり方を見つめる時間にして下さい。自分自身を客観的に把握したり、他者の考えを受け止めながら、主体的に学ぶことを期待しています。</p>							
<p>・ 使用教材</p> <p>教科書： 参考書：文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 厚生労働省『保育所保育指針解説書』フレーベル館</p>							